

GBR2DXF

Gerber から DXF への変換/Windows 版

概要

GBR2DXF は、Gerber フォトプロット・データを、AutoCAD の DXF データ・フォーマットへ変換します。アセンブリ・ドキュメンテーションまたはパッケージ・デザインを取り扱う設計者は、このトランスレータを使う事により、AutoCAD(あるいは DXF を読むその他の CAD パッケージ) にボード・アウトライン、シルク・スクリーン、パッドマスター・データを移行することができます。

GBR2DXF トランスレータのユニークな特徴は、各 Gerber トレースをアウトラインに変換できることです。多くの CAD システムでは、幅を持ったラインをサポートしていません。GBR2DXF の特別なアウトライン機能により、設計者は彼のディスプレイ上で、ボードの描写を正確に見ることができます。次のスクリーンで、GBR2DXF がいかにスムーズに変換処理を進めるかお分かりになるでしょう。

機能

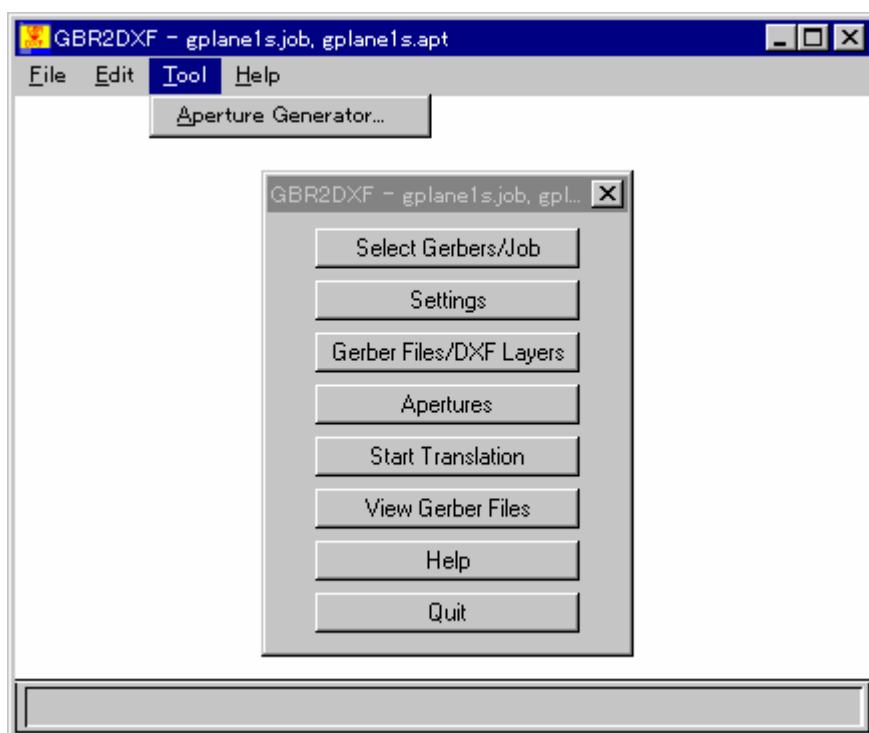
アセンブリ・ドキュメンテーションとパッケージ・デザインのための基準

幅を持ったポリラインまたはアウトラインの描写

複数の Gerber ファイルを 1 つの AutoCAD レイヤへマージ

RS274D, RS274X, MDA AutoPlot フォーマット

GBRVU による、Gerber データの表示とプロット

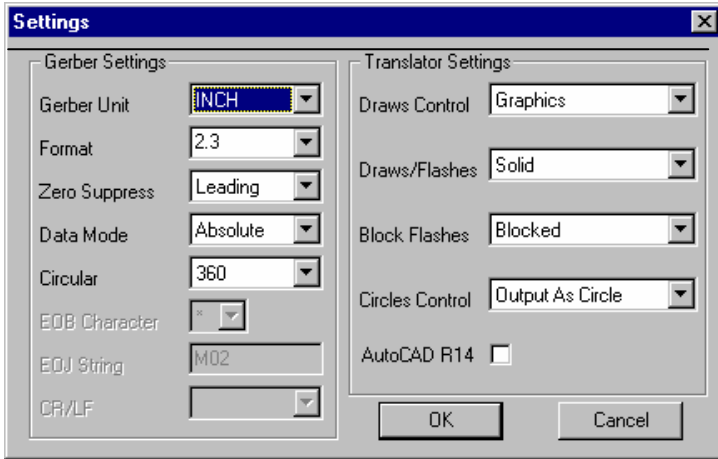


オープニング メニュー

オープニング・メニューのボタンを上から順にクリックすることで、変換の処理が進みます。メニューでの処理により、初心者でも必要なステップに従うことができます。

セッティング

Gerber パラメータと変換の設定は、ダイアログ・ボックスから指定できます。GBR2DXF はこれらのパラメータをアパーチャー・ファイルに保存しますので、あなたが別のジョブで同じアパーチャー・ファイルを使用する場合、再入力する必要はありません。RS274X ファイルをインポートした場合、これらの設定はヘッダ情報から読み取られます。

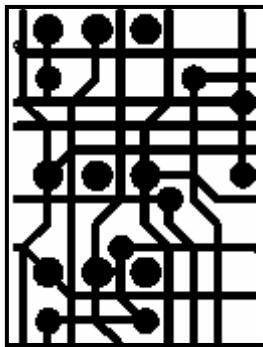


Gerber Draws - 各ドローを幅付きのポリラインを使ったアウトラインへ変換します。この DXF エンティティを読まない CAD システムには、サーキット・トレースによって領域をカバーしたゼロ幅のポリラインを出力します。

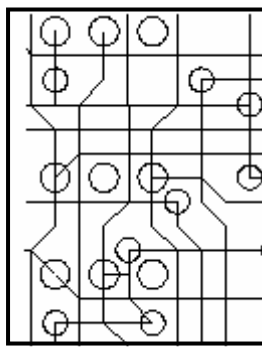
Gerber Flashes - フラッシュはブロックへ変換されます。GBR2DXF は各アパーチャー定義に対して自動的にブロックを生成します。

特別なアウトライン機能

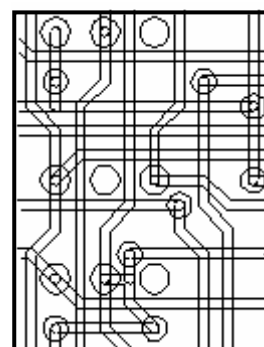
ProEngineer や CadKey など、多くの CAD プログラムは、ポリライン（すなわち幅によるライン）をサポートしていません。あなたが Gerber ファイルを DXF へ変換して、Gerber 図面を表示するために DXF ポリライン幅を使う場合、ProEngineer は幅を無視して、センター・ラインのみ表示します。より写実的な描写を ProEngineer に表示するために、我々は特別なアウトライン・オプションを提供しています。幅付きのポリラインを使う代わりに、領域の周りを囲むゼロ幅のポリラインを出力します。



CAD ステーションで表示される Gerber データ



幅付きポリラインを使った場合の ProEngineer による表示



GBR2DXF の OUTLINE オプションを使った場合の表示



国内代理店：
株式会社アノバ・ソリューションズ
神奈川県横浜市港北区新横 3-8-11
Tel: 045-349-5703 Fax: 045-349-5704
E-mail: yamamoto@anova-solutions.com

開発元：
ARTWORK CONVERSION SOFTWARE, INC
417 Ingalls St., Santa Cruz, CA 95060, USA
Tel: 831-426-6163 Fax: 831-426-2824
Email: info@artwork.com
www.artwork.com